

インストラクショナルデザインの視点に立った ポートフォリオの教育的意義



熊本大学大学院
教授システム学専攻

鈴木 克明

<http://www.gsis.kumamoto-u.ac.jp/>



講演の内容は 以前から興味があった

選択肢	選択数	回答率
そうおもう	9	64%
ややそうおもう	2	14%
ややそうおもわない	2	21%
そうおもわなかった	0	0%

講演の内容は 大変有意義なものであった

選択肢	選択数	回答率
そうおもう	12	86%
ややそうおもう	1	7%
ややそうおもわない	1	7%
そうおもわなかった	0	0%

鈴木から得たヒント

- ・ どう活用できるか少し考えないと分からない
- ・ すべてのことを先生がフォローするのではなく、生徒の主体性を高めることも必要だと感じました。
- ・ IDのゴール、ARCSモデル参考になりました。ARCSモデルのヒント集、参考になります。IDの話とはかけ離れますが「必須科目の重要性を学生に伝える」は講義開始時に伝えます(笑)
- ・ ARCSモデルを学生に配布して突き放したいと思えます
- ・ 糖尿病診療をしている医師です。大変有意義で示唆深いお話でした。ARCSモデルが生活習慣病患者に対する教育や生活習慣の変容目的にも役立つと感じました

鈴木への質問・疑問

- こちらのご講演もどちらかというといーラーングの総論や理論的チップスについての話が多く、実践例を中心にナビしてもらいたかったです。
- 現実の問題が多く、理想は遠いですね。教育工学会に入ることですか？
- 大学組織について話された内容は認証評価と全く同じでした。
- 学生へのICTインフラ整備を義務化することは難しいと思いますが、そこはどのようにお考えですか？
- 効率に関して難しさを感じます。教材を電子化する、ルーブリックをつくるなど大変な手間です。授業に必須な作業としては理解できるのですが、良い方法はありますか？

eラーニング専門家をeラーニングで養成！ 熊本大学大学院 教授システム学専攻

5



鈴木が感じた今日の収穫



- 「ポートフォリオ」は、はやり言葉。いろんな思いと規模で使える(使ってしまった)用語だから混乱を招く恐れがある。混乱を整理するための最低要件(3つの要素)や整理軸(粒度など)が必要ですかね。
- ポートフォリオは省察習慣とアピール力を育てるツールである。ツールは使い手の成長を求め、促す。(うまく)使わせている大学とそうでない大学では学生にどのような差がある(でる)か今後の展開が楽しみ。
- 柔軟なツールは使い手の発想次第で雲泥の差が出る。賢い使い方をお互いに学んで「学生が喜んで作るポートフォリオ」を実現していきましょう。

eラーニング専門家をeラーニングで養成！ 熊本大学大学院 教授システム学専攻

6



eラーニング専門家をeラーニングで養成！ 熊本大学大学院 教授システム学専攻

7

eラーニングの導入がやいばなしの教育を防ぐ？



- 1) eラーニングは残る。残るものはちゃんとやらなければならない(みっともない)。そこに、これまでの教育の再点検が始まる契機がある。
- 2) 大学教員は「教育技術」の体系的訓練を受けていない。教育については無免許運転という自覚から。
- 3) 4年間でどのような付加価値をつけて卒業させるのか。

eラーニングは学びを支えるインフラ
ポートフォリオはインフラの一部

eラーニング専門家をeラーニングで養成！ 熊本大学大学院 教授システム学専攻

8